

# 日本認知科学会第20回大会

第20回大会準備委員会代表

内海 彰

日本認知科学会

第20回大会

準備委員会

電気通信大学

準備委員会代表

内海 彰

準備委員

プログラム委員

伊藤 毅志

角田 博保

笠原 ゆう子

阪口 豊

坂本 真樹

佐山 弘樹

中村 涉

久野 雅樹

廣瀬 友紀

主催 日本認知科学会

協賛 電気通信大学 共立出版 幸和商事 ベネッセ・コーポレーション「チャイルド・リサーチ・ネット」  
TEXTエディティングサービス デュプロシステム  
東京大学出版会 ナックイメージテクノロジー  
日本事務光機 ひつじ書房 凡人社

会期 2003年6月6日(金), 6月7日(土), 6月8日(日)

会場 電気通信大学(東京都調布市調布ヶ丘1-5-1)

受付・展示

講堂ロビー

特別記念講演・招待講演

講堂

口頭発表

講堂

ポスター発表

第一会議室

ワークショップ

C棟201講義室 / C棟301講義室 /  
旧福利施設2F

参加費

正会員 学生会員 非会員

事前登録(4月30日まで) 6,000円 3,000円 9,000円

当日登録(5月1日以降) 7,000円 4,000円 10,000円

予稿集のみ(残部有の場合) 5,000円(送料含む)

懇親会

6月7日(土)19時より,調布クレストンホテルにて行います。会費は,正会員5,000円,学生会員4,000円,非会員5,000円です。参加申し込みは会期中も受け付けますが,会場の収容人数の関係から申し込みを締め切ることもありますので,ご注意ください。

問い合わせ・連絡先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

電気通信大学 認知科学 2003 事務局

Email: jc2003-qa@complex.hc.uec.ac.jp

URL: <http://complex.hc.uec.ac.jp/JCSS2003/>

Fax/Tel: 0424-43-5258 (内海 彰)

# 大会日程

	6/6 (金)	6/7 (土)	6/8 (日)
8:30	受付	受付	受付
9:00	開会		
9:10	口頭発表 (1)	ポスター発表 (2)	口頭発表 (5)
10:00			
10:10	口頭発表 (2)	口頭発表 (4)	特別シンポジウム 「学習科学と 認知科学」
10:20			
11:00			
11:40	昼食	昼食	昼食
12:00			
12:40	招待講演 竹内 郁雄 氏	総会	
13:00			
13:30	招待講演 児玉 幸子 氏	招待講演 池上 高志 氏	ポスター発表 (4)
13:40			
14:00	口頭発表 (3)		
14:30			
14:40	ポスター発表 (1)	ポスター発表 (3)	口頭発表 (6)
15:00			
15:40			
16:00			
16:10	ワークショップ (1)	特別記念講演 羽生 善治 氏 松原 仁 氏	ワークショップ (2)
17:00			
17:10			
17:20			
18:00			
18:40			
19:00		懇親会	
19:20			
20:00			
21:00			

## 開会

9:00 ~ 9:10

会場：講堂 司会：内海 彰(大会準備委員会代表)

電気通信大学 副学長 古郡 廷治

## 口頭発表(1)

9:10 ~ 10:10

会場：講堂 司会：斎木 潤(京都大学)

- A-1 視覚物体認知における表面色効果の規定因：  
色識別性とカテゴリの影響の検討  
永井淳一・横澤一彦(東京大学)
- A-2 多面体認知における心理量と物体像エントロピー  
石川尋代・佐藤幸男(名古屋工業大学)
- A-3 認知言語学における「心的走査」の実在性：  
言語理解における「主体の視線」の実験的検証に基づく検討  
小島隆次・野澤 元(京都大学) 深田 智(英知大学)

## 口頭発表(2)

10:20 ~ 11:40

会場：講堂 司会：楠見 孝(京都大学)

- B-1 名詞の多義の発生原理とその認知的身分  
佐藤芳明・田中茂範(慶應義塾大学)
- B-2 基準設定からみた動作動詞と変化動詞  
定延利之(神戸大学)
- B-3 認知言語学の知見に基づくTV広告理解過程解明の試み  
坂本真樹(電気通信大学) 加藤雄一郎(名古屋工業大学)
- B-4 広告の中心-周辺情報が感性判断と購買欲に及ぼす効果  
- 商品属性と商品名の典型性に基づく検討 -  
松田 憲(京都大学) 鈴木和将(電通) 楠見 孝(京都大学)

## 招待講演

12:40 ~ 13:30

会場：講堂 司会：松原 仁(公立はこだて未来大学)

竹内 郁雄(電気通信大学)

「ロボットプログラムは人間のようにサッカーができるか？」

## 招待講演

13:40 ~ 14:30

会場：講堂 司会：内海 彰(電気通信大学)

児玉 幸子(電気通信大学)

「インタラクティブアートと認知

～音声・映像に反応する流体を用いた作品を手がかりに～」

## 口頭発表(3)

14:40 ~ 15:40

会場：講堂 司会：鈴木宏昭(青山学院大学)

C-1 外国為替取引におけるリスク管理行動のエキスパート・ノービス間比較

内田勇輔・植田一博(東京大学) 和泉 潔(産業技術総合研究所)

伊藤祐輔(シンプレクス・インスティテュート)

C-2 長期的技能習得データの「見晴らし台」とその意義

木村 泉(中京大学)

C-3 構成的知覚 - 知覚と概念をコーディネートする認知能力 -

諏訪正樹(中京大学 / 科学技術振興事業団)

## ポスター発表(1)

15:50 ~ 17:10

会場：第一会議室

P-1 選択 - マッチングによる選好逆転現象に対する整列可能性の影響

富川源太・山岸侯彦(東京工業大学)

P-2 Image Theory に基づいた意思決定基準に影響を与える要因の検討

- 高校生の進路決定の場合 -

南里実香子・山岸侯彦(東京工業大学)

P-3 多属性意思決定過程のニューラルネットワークによるモデル化

相原 永(構造計画研究所) 中川正宣・山岸侯彦(東京工業大学)

P-4 意思決定の反復によるフィードバック的な心理処理の変化

寺井あすか(東京工業大学) 上市秀雄(筑波大学) 中川正宣(東京工業大学)

P-5 協調行動における動的な意思決定過程の実験研究

深町珠由・中川正宣(東京工業大学)

P-6 意思決定における選択肢の再評価

田村真史・服部雅史(立命館大学)

P-7 言語確率の方向性が確率判断に与える影響

- 選択課題と量的判断課題における比較 -

本田秀仁・山岸侯彦(東京工業大学)

- P-8 条件文に基づく主観確率判断過程のニューラルネットワークモデル  
- 意味的相互作用の検討 -  
中島功滋・中川正宣(東京工業大学)
- P-9 代替帰結効果に対する事象の順位, 確率, 評価フレームの影響  
中村國則(早稲田大学)
- P-10 カテゴリに基づく帰納における確率論的アプローチの検討  
大西仁(メディア教育開発センター/総合研究大学院大学)
- P-11 Wason 選択課題における必要性・十分性の解釈の影響  
中村紘子・川口潤(名古屋大学)
- P-12 自発的な知識の利用に関わる制約  
森田純哉・三輪和久(名古屋大学)
- P-13 因果推論に対する事象間の因果的関連性の認知の影響  
服部郁子・中川正宣(東京工業大学)
- P-14 On-line Processes of Causal Bridging Inferences:  
A Modification to the Validation Model  
森島泰則・松井智子(国際基督教大学)
- P-15 処理水準の再活性化量による説明可能性のシミュレーションによる検討  
水野りか(中部大学)
- P-16 オペレータを導入した一般的洞察問題解決過程のカオスニューラルネットワークモデル  
~ T puzzle を題材に ~  
阿部慶賀・和嶋雄一郎・中川正宣(東京工業大学)
- P-17 洞察問題の共同解決場面における役割機能の意味  
石塚貴志・服部雅史(立命館大学)
- P-18 理解の過程に起こる誤解の探索的研究  
竹原啓(中京大学)
- P-19 制約緩和から見た洞察問題解決過程  
寺井仁・三輪和久・古賀一男(名古屋大学)
- P-20 デジタルカメラの使用における分割プランの効果  
難波和明(東京理科大学)
- P-21 協同問題解決におけるメタレベルの働きかけが表象変化に及ぼす影響  
清河幸子・植田一博(東京大学) 岡田猛(名古屋大学)
- P-22 科学コミュニティレベルにおける協働構築  
山内保典・岡田猛(名古屋大学)

- P-23 認知科学辞典の支援機能を拡張する  
小橋康章(ハイウェイ開発)
- P-24 仮説形成・仮説検証過程の解明を目的としたマイクロワールド  
- 音響減衰現象に関する仮想実験環境 -  
山崎 治(千葉工業大学) 松田真也(コンピュータロン)
- P-25 理系学習経験が空間的思考(心的回転課題)に及ぼす影響と性差についての研究  
高平小百合(玉川大学)
- P-26 思考の文化差に対する二重過程理論からの説明  
山 祐嗣(神戸女学院大学) 西岡美和(甲南女子大学) 堀下智子(大阪大学)  
川崎 弥生(神戸女学院大学) 谷口淳一(大阪大学)
- P-27 相手モデルが将棋対局中の思考に与える影響  
伊藤毅志(電気通信大学) 松原 仁(公立はこだて未来大学)
- P-28 1桁の加法・乗法の真偽判定課題における同数効果の生起因  
島田英昭(筑波大学)
- P-29 マイクロスリップにみる人間の日常行動実行プロセスのモデル化  
佐藤宏昭・大森隆司(北海道大学)
- P-30 WWW 情報検索におけるメタ認知支援:  
探索行動フィードバックシステムの構築  
齋藤ひとみ・三輪和久(名古屋大学)
- P-31 熟達者は地形図から何が読み取れるか?  
- 小縮尺地図の読解の認知的プロセス -  
村越 真(静岡大学)
- P-32 街のレイアウトとナビゲーション  
福間祥乃・佐々木正人(東京大学)
- P-33 経験情報をメンタルモデルとして用いた歩行ナビゲーション  
竹之内博史(慶應義塾大学) Kwok, Misa Grace(山梨大学/慶應義塾大学)  
武藤 佳恭(慶應義塾大学)
- P-34 音声操作カーナビゲーションにおける初心者ユーザの操作モデルとその特徴  
山中佑也(中京大学)
- P-35 仮想現実空間を用いた地図および言葉によるナビゲーションの実験と  
認知的評価  
田村和弘(理化学研究所) 篠原和子・Bipin Indurkha(東京農工大学)
- P-36 フィードバックという概念の歴史的研究  
柴田 崇(東京大学)

- P-37 neurally inspired backpropagation network model は三歩歩くと忘れるか：  
catastrophic interference 再検討  
山口 誠(日本学術振興会 / 早稲田大学)
- P-38 脳型並列計算を例示する認知実験の構築  
森山 徹・高山貴裕・櫻沢 繁・塚原保夫・石井宏一(公立ほこだて未来大学)
- P-39 精神的ストレス疲労を臨床的に定義する試み  
志井田孝(ヒヨドリ会大脳研究所) 秋坂真史(茨城大学)  
渡辺めぐみ(ヒヨドリ会大脳研究所)
- P-40 走り幅跳びの歩幅調整における助走条件の影響について  
中村祥子・山本裕二(名古屋大学)
- P-41 自然科学とアニメーション作成方法に共通する自然事象の性質  
- 風の動きおよびヒトの歩行、走行を例として -  
佐分利敏晴(東京大学)
- P-42 Affordance Considered Harmful  
中島秀之(産業技術総合研究所)

---

**ワークショップ(1)**

17:20 ~ 19:20

---

**会場：C棟 201 講義室(W-1) / C棟 301 講義室(W-2) / 旧福利施設 2F(W-3)**

- W-1 知的情報処理を活用した外国語学習  
企画責任者 原田康也(早稲田大学)
- W-2 文学理論と認知科学 - 拡張文学理論をめぐって  
企画責任者 金井明人(日本学術振興会 / 山梨大学)
- W-3 認知科学オントロジー 第1部実践編  
企画責任者 橋田浩一(産業技術総合研究所)

## ポスター発表(2)

9:00 ~ 10:20

会場：第一会議室

- Q-1 「前」「後」の意味と参照枠：対峙的方略と整列的方略のあらわれ方  
篠原和子(東京農工大学) 大館実子(国際基督教大学) 松中義大(東京工芸大学)
- Q-2 意味の主體的側面についての認知言語学からの提案：  
心的走査の実験をふまえて  
野澤元(京都大学) 深田智(英知大学) 小島隆次(京都大学)
- Q-3 発話解釈において認知環境が変化する条件  
中村太戯留(慶應義塾大学)
- Q-4 「やはり」の意味機能 - 対話時の心的表示の観点から  
森一彦(中京大学)
- Q-5 通訳・翻訳における訳語決定の認知プロセス  
英語の接続詞の訳出事例研究  
河原清志・田中茂範(慶應義塾大学)
- Q-6 「健は(寒いのに)窓をあけている」の分析  
「窓をあける」および「窓があいている」との関連  
水田洋子(シカゴ大学卒)
- Q-7 前提の論理的規定と信念論理  
中山康雄(大阪大学)
- Q-8 メタファー - その類似性と情動性 -  
森英樹(大阪大学)
- Q-9 新奇比喩の理解と評価における後続暴露的呈示の文脈効果  
中原誠・服部雅史・尾田政臣(立命館大学)
- Q-10 比喩の理解・鑑賞過程における創発特徴の役割  
内海彰(電気通信大学)
- Q-11 アイロニーの与える効果の実験的検討：  
表現形式，对人的親密性，丁寧さによる影響  
大石昌宏・内海彰(電気通信大学)
- Q-12 談話における発話意図の予測に関するプロトコル分析  
柏崎秀子(東京工業大学)
- Q-13 社会的信念支持機構に基づく認知システム  
- 発話解釈，信念更新から感情喚起まで -  
松本斉子・往住彰文(東京工業大学)

- Q-14 3次元マルチユーザ仮想環境における物語理解と生成：  
表情アバターによるチャットに基づく検討  
米田英嗣・楠見 孝(京都大学)
- Q-15 小説のハイパーテキスト化とメディア比較  
森田 均(県立長崎シーボルト大学) 藤田米春(大分大学)
- Q-16 線形テキストのハイパーテキスト化  
藤田米春(大分大学) 森田 均(県立長崎シーボルト大学) 西島恵介(大分大学)
- Q-17 The Production of Subject-Verb Agreement in a Second Language  
Noriko Hoshino, Paola E. Dussias, Judith F. Kroll (The Pennsylvania State University)
- Q-18 The nature of grammatical encoding:  
Syntactic-independent formation of a constituent structure  
山下裕子(Rochester Institute of Technology) 広瀬友紀(電気通信大学)  
Franklin Chang(Max Plank Institute)
- Q-19 統語解析は即時処理か遅延処理か - P600を指標として -  
大石衡聴・坂本 勉(九州大学)
- Q-20 可逆事態文の理解方略の変化について - 発達性表出性言語障害事例より -  
今村亜子・坂本 勉(九州大学)
- Q-21 LFGにおける線形順序制約  
高橋 慶(奈良先端科学技術大学院大学) 石川 潔(法政大学)
- Q-22 第四種動詞のテイルに関する非特殊性  
古賀ひろ子・石川 潔(法政大学)
- Q-23 日本語における節境界解析時の語彙情報の影響  
村岡 諭・坂本 勉(九州大学)
- Q-24 名詞句の「固有名詞的用法」  
水野史土(神戸松蔭女子学院大学)
- Q-25 日本語名詞句の文脈に依存した意味解釈の検討  
菊池隆典・白井英俊(中京大学)
- Q-26 新奇な日本語漢字連結の解釈方略  
黒沢 学(東京電機大学)
- Q-27 文理解に及ぼすワーキングメモリ容量・語彙知識の影響  
神長伸幸(早稲田大学) 馬塚れい子(Duke University)
- Q-28 日本語複合名詞句構造処理における再解析コスト  
- 言語作動記憶の個体差と統語的予測 -  
時本真吾(目白大学/東京大学)

- Q-29 語彙的手がかりが弱い場合のガーデンパス効果  
井上雅勝(武庫川女子大学)
- Q-30 語彙判断課題における文字繰り返しの効果  
川上正浩(大阪樟蔭女子大学)
- Q-31 単語認識に及ぼす手の拘束と文字構成因の影響  
安念保昌(愛知みずほ大学)
- Q-32 単語心像性における表記と品詞の影響  
佐久間尚子・伊集院睦雄・伏見貴夫・辰巳格(東京都老人総合研究所)  
田中正之(京都大学) 天野成昭(NTTコミュニケーション基礎研究所)  
近藤公久(NTTデータ)
- Q-33 語形変化のコネクショニストモデル  
~ 単語の分節化過程との関連を探る ~  
牧岡省吾(大阪女子大学)
- Q-34 Effects of mora, bi-mora and word frequencies in the phonological processing of Japanese words and nonwords  
玉岡賀津雄(広島大学) 牧岡省吾(大阪女子大学)
- Q-35 Recasts, Morpheme Acquisition, and Salience of Form  
Jeffrey Witzel(電子通信大学) Leslie Ono(姫路獨協大学)
- Q-36 東京方言におけるアクセントフレーズ境界の認知について  
畑野智栄・堀内靖雄・市川薫(千葉大学)
- Q-38 音声知覚における phoneme inventory の役割  
石川潔・川崎貴子(法政大学)
- Q-39 母音変異に対する知覚的制約の影響  
松井理直(神戸松蔭女子学院大学)
- Q-40 言語分節化における視・聴覚事象関連電位  
Dilshat Ablal(科学技術振興事業団) 岡ノ谷一夫(千葉大学)
- Q-41 聴覚フィードバック実験に基づく発話モデルの検討  
沢田晴彦・箕一彦(名古屋大学)
- Q-42 発話におけるジェスチャーの機能  
- 物語の伝達における遅延聴覚フィードバックのジェスチャー産出への影響 -  
齋藤洋典・沢田晴彦・大井京(名古屋大学)

## 口頭発表(4)

10:30 ~ 12:30

会場：講堂 司会：野島久雄(NTTマイクロシステムインテグレーション研究所)

- D-1 免疫グロブリンを用いた暗算課題および音楽聴取の生理評価  
野村収作・田中秀典・長島知正(室蘭工業大学)
- D-2 科学概念の変化における協同の有効性と限界  
権裕善・三輪和久(名古屋大学)
- D-3 誤認の適応性 - エージェントベースモデルに基づく検討  
赤石仁・有田隆也(名古屋大学)
- D-4 3次元マルチユーザ仮想環空間におけるチャット・コミュニケーション：  
表情アバターの感情伝達とインタフェース評価  
楠見孝・米田英嗣・小島隆次(京都大学)
- D-5 ユーザの適応を促すインタフェースの開発と評価  
~バージョンアップ時の差分明示による効果  
羽山博・植田一博(東京大学)
- D-6 乳児はロボットをどう捉えるか? - 10ヶ月乳児を対象として -  
有田亜希子(東京大学) 開一夫(東京大学/科学技術振興事業団)  
神田崇行(ATR 知能ロボティクス研究所) 石黒浩(大阪大学)

## 総会

13:30 ~ 14:00

会場：講堂

## 招待講演

14:10 ~ 15:00

会場：講堂 司会：佐山弘樹(電気通信大学)

池上高志(東京大学)  
「自然現象としての心と言語」

## ポスター発表(3)

15:10 ~ 16:30

会場：第一会議室

- R-1 脳はヒトの運動速度を推測できる?  
平井真洋(東京大学) 開一夫(東京大学/科学技術振興事業団)
- R-2 ヒューマノイドロボットはどこまで「リアル」なのか?:  
脳活動を指標とした現実感の判定  
松田剛(東京大学) 開一夫(東京大学/科学技術振興事業団)  
有田亜希子(東京大学) 嶋田総太郎(科学技術振興事業団) 亀割一徳(東京大学)  
神田崇行(ATR) 石黒浩(大阪大学/科学技術振興事業団)

- R-3 ロボットに対する認知構造(1): SD法による認知次元の抽出  
増田尚史(名古屋大学)
- R-4 ロボット哲学の試み  
吉谷清澄(琉球大学)
- R-5 ヒトとロボットとの快適距離とその調整機構について  
李銘義(京都大学/ATR) 山下幸範(京都大学) 藤井洋之・岡田美智男(ATR)
- R-6 ロボットとの行為連鎖の中から引き出される行為について  
藤井洋之・岡田美智男(ATR 知能ロボティクス研究所)
- R-7 BBVM: 自己目的な相互行為に対する一つの視点  
森藤大地(京都大学) 塩瀬隆之(京都大学/ATR 知能ロボティクス研究所)  
藤井洋之・岡田美智男(ATR 知能ロボティクス研究所)
- R-8 実世界対象物との実世界インタラクションによる体験映像の整理  
河村竜幸・福原知宏(奈良先端科学技術大学院大学) 武田英明(国立情報学研究所)  
河野恭之・木戸出正継(奈良先端科学技術大学院大学)
- R-9 エージェントの身体に機能は帰属するか  
渡邊桂子・竹内勇剛(静岡大学)
- R-10 非交替型チャットシステムを利用した対話分析の検討  
山田祐士・竹内勇剛(静岡大学)
- R-11 チャット対話における隣接対の認識  
小倉加奈代(北陸先端科学技術大学院大学) 石崎雅人(東京大学)
- R-12 チャットにおけるパーソナリティを特定する要因の研究  
平野宏奈(東京工業大学) 柳沢昌義(東洋英和女学院大学)  
赤堀侃司(東京工業大学)
- R-13 電子メールコミュニケーションで生じる感情に及ぼす対面による  
コミュニケーションの影響  
加藤由樹(東京工業大学) 杉村和枝(大東文化大学) 赤堀侃司(東京工業大学)
- R-14 電子掲示板でのコミュニケーションにおいて過去の書き込みが  
参加者に与える影響  
加藤尚吾・赤堀侃司(東京工業大学)
- R-15 メールというテキスト対話を持つ音韻的側面について:  
作業記憶モデルに基づく検討  
原田悦子・須藤美幸(法政大学) 須藤智(中央大学)
- R-16 思い出コミュニケーションの活性化のためのカード型写真ビューアーの  
デザイン(2)  
徳村篤志(多摩美術大学) 野島久雄(NTTマイクロシステムインテグレーション研究所)

- R-17 マルチモーダルインタフェースを用いた家庭内情報システム(3)  
- コンテンツの役割 -  
北端美紀・野島久雄(NTTマイクロシステムインテグレーション研究所)
- R-18 ながら電話による対話の変化:  
注意分割状況における対象指示コミュニケーションの分析  
南部美砂子(日本学術振興会/法政大学) 原田悦子・縄田映美(法政大学)
- R-19 高齢社会におけるモノのデザインはいかにあるべきか:  
創発的使用とコミュニケーションの視点からの考察  
赤津裕子(沖電気工業) 原田悦子(法政大学)
- R-20 ユーザの視点から見た緊急通報システム:  
在宅ケア情報システムの使いやすさに関する認知科学的検討  
緒方啓史(山武) 原田悦子・下夷美幸(日本女子大学)  
南部美砂子(日本学術振興会/法政大学) 赤津裕子(沖電気工業)  
谷上望(法政大学) 加納史朗(山武)
- R-21 在宅高齢者のための健康・生活支援システムの「使いやすさ」:  
継続型ユーザビリティテストによる検討  
谷上望・原田悦子(法政大学) 赤津裕子(沖電気工業)
- R-22 感性はリズムで伝わる～感性協調支援にむけて～  
仲谷美江・吉良文郷・西田正吾(大阪大学)
- R-23 懐かしさを介したコミュニケーション支援の検討  
清水真澄・仲谷美江・西田正吾(大阪大学)
- R-24 図形コミュニケーションにおける描画インタラクションについて  
馬田一郎・片桐恭弘(ATRメディア情報科学研究所)  
下嶋篤(北陸先端科学技術大学院大学) Nik Swoboda(ATRメディア情報科学研究所)
- R-25 運動図形に対する心的状態の帰属  
龍輪飛鳥(京都大学) 伊東裕司(慶應義塾大学)
- R-26 認知的フレームワークと知識の有無が感動喚起に及ぼす影響  
戸梶亜紀彦(広島大学)
- R-27 シートモデルによる感覚機能と感情機能  
岡田要(中京大学)
- R-28 情動抑制のメカニズム 精神神経免疫学と神経イメージングによる検討  
野村理朗(日本学術振興会/名古屋大学) 大平英樹・市川奈穂・磯和勅子(名古屋大学)
- R-29 運動反応を惹起しやすいリズムパタンの特性  
小森政嗣(大阪電気通信大学) 岩城達也(広島国際大学)

- R-30 身体運動の認知に関する研究(1)  
- 継時呈示された身体画像に及ぼす自己中心的参照枠の効果 -  
井藤寛志・齋藤洋典・白石知子・山本裕二(名古屋大学)
- R-31 Intersensory perception and causality  
藤巻慎一・郡司幸夫(神戸大学)
- R-32 左右空間の意味を身振りからみると…  
荒川 歩(同志社大学)
- R-33 音声の韻律が人間の選択行動に与える影響  
藪田洋平(静岡大学) 鈴木紀子(ATR メディア情報科学研究所)  
竹内勇剛(静岡大学 / ATR メディア情報科学研究所)  
片桐恭弘(ATR メディア情報科学研究所)
- R-34 共感をよぶCG顔表情に関する研究  
羽田拓朗・竹内勇剛(静岡大学)
- R-35 顔画像低周波表現と主成分解析に於ける固有状態の具体的描像とその意味  
葛西和歌子・雨森道紘(弘前大学)
- R-36 顔領域の時間的輝度変動に基づく表情認識の試み  
榎津秀次・石川達彦(芝浦工業大学)
- R-37 手掌部触覚におけるインフォメーション・キャパシティに関する実験的検討  
Kwok, Misa Grace(山梨大学 / 慶應義塾大学) 福田忠彦(慶應義塾大学)
- R-38 視聴覚統合現象の時間特性 - Double-flash illusion をもとに -  
宇都宮淳・茅原拓郎・佐藤隆夫(東京大学)
- R-39 遅延映像がもたらす視覚・触覚の様相間にまつわる論理構造の変化  
若槻淳一朗・郡司ペギオ幸夫(神戸大学) 三輪敬之(早稲田大学)
- R-40 視覚と触覚のクロスモーダルな注意の瞬き現象  
林美恵子(早稲田大学) 山本優介(日本総合研究所)  
中山満子・橋本文彦(大阪市立大学)
- R-41 ランダムドット平面と縦格子の重ね合わせによるトーラス状図形の  
立体錯視像の出現  
大槻正伸(福島工業高等専門学校) 中野良樹(秋田大学)
- R-42 なぜ他者の視線の方向がターゲットの検出を促進させるのか?  
- 視線測定による検討 -  
岡本早苗・川合伸幸(名古屋大学)
- R-43 物理的に視線が合わなくてもアイコンタクト機能が伝わる超鏡対話の  
認知メカニズム  
森川 治(産業技術総合研究所)

特別記念講演

16:40 ~ 18:40

会場：講堂 司会・オーガナイザー：伊藤毅志(電気通信大学)

羽生 善治(将棋プロ棋士) 松原 仁(公立はこだて未来大学)

「将棋と認知科学」

懇親会

19:00 ~ 21:00

会場：調布クレストンホテル

## 口頭発表(5)

9:00 ~ 10:20

会場：講堂 司会：久野雅樹(電気通信大学)

- E-1 擬音語・擬態語の再認とプライミング効果に対する連想の効果について  
小林由紀(川村学園女子大学)
- E-2 The Translation Asymmetry in Unbalanced Bilinguals  
大内楠緒子(東京外国語大学)
- E-3 子どもの動詞学習における項構造および事物既知性の役割  
針生悦子(東京大学) 今井むつみ(慶應義塾大学) 岡田浩之(東海大学)
- E-4 2歳児は材質名称をどの程度わかっているのか  
- 存在論的カテゴリーとの関連で -  
小林春美(東京電機大学)

## 特別シンポジウム

10:30 ~ 12:10

会場：講堂 オーガナイザー：三宅なほみ(中京大学) 大島純(静岡大学)

「学習科学と認知科学：日本での学習研究の流れを振り返って」

話題提供者：東洋(清泉女学院大学)「教育心理学とはどのような研究分野か」  
波多野 誼余夫(放送大学学園)「デザイン原則はどこからくるのか」  
三宅 なほみ(中京大学)「協調学習とデザイン研究」

コメンタ：大島純(静岡大学)

## ポスター発表(4)

13:10 ~ 14:30

会場：第一会議室

- S-1 The developmental view of tense-shifting in Japanese children's narratives  
稲葉みどり(愛知教育大学)
- S-2 日本語の「V-合う」構文の獲得について  
中戸照恵(東京大学)
- S-3 幼児による文末表現の習得と認知発達 - 命題との関係に注目して -  
古田嘉照(中京大学)
- S-4 言語処理メカニズムの発達の観点からみた言語獲得過程の考察  
白井英俊(中京大学)
- S-5 きょうだいの存在と言語発達：会話の参加に注目して  
白井純子・Patschke Cynthia(中京大学)

- S-6 環境情報による幼児の語彙獲得バイアス変化のモデル研究  
日高昇平・齋木潤(京都大学)
- S-7 文脈に埋め込まれたカテゴリー情報に基づく語彙獲得過程のモデル化  
- Taxonomic Bias はいかにして生まれるのか -  
豊村暁・大森隆司(北海道大学)
- S-8 幼児におけるゲームプレイ中の自己認識とそのモデル化  
伊藤亜季・石川悟・大森隆司(北海道大学) 藤田和生(京都大学)
- S-9 幼児期の自己理解 - 双生児における名前の理解から -  
中島君枝(中京大学)
- S-10 乳児期の目的帰属：行為者の知覚的属性の影響  
亀割一徳(東京大学) 開一夫(東京大学/科学技術振興事業団)  
加藤正晴(東京女子医科大学)
- S-11 幼児はテレビ映像の奥行きをどう理解しているか？  
宮崎美智(東京大学) 開一夫(東京大学/科学技術振興事業団)
- S-12 子どもの遊びにおけるルールの多様な展開に関する進化ゲーム論的分析  
佐伯胖・森平菜津子(青山学院大学)
- S-13 情報統合活動における協調のプロセス分析  
湯浅且敏・三宅なほみ(中京大学)
- S-14 コミュニティにおける段階的熟達者の会話を見る効果  
中山隆弘・伊藤真吾・三宅なほみ(中京大学)
- S-15 ゲームプログラミングとプレイ熟達との関係について  
~戦艦ゲームを題材として~  
中村孝(大阪産業大学)
- S-16 演技計画の段階における演劇俳優の視点の熟達化  
安藤花恵(京都大学)
- S-17 知覚の再構成によるパフォーマンスの向上  
- アイスホッケーにおけるケーススタディー -  
山田雅之・諏訪正樹(中京大学)
- S-18 弦楽器演奏におけるスキルのモデル化  
古川康一・植野研・五十嵐創・森田想平・玉川直世・尾崎知伸(慶應義塾大学)
- S-19 外国語学習における目標志向性と学習観および学習方略の関係  
中山晃(足利工業大学)
- S-20 教授活動とチャットでの内容討議による散文理解への促進 - 類推の精緻化 -  
光田基郎(大阪経済大学)

- S-21 自己表現能力向上のためのカードを使用した応答練習  
- 「総合英語」における授業実践とその認知科学的考察 -  
原田康也(早稲田大学)
- S-22 認知的葛藤生起の教授ストラテジーによる概念変容のプロセス  
高垣マユミ(鎌倉女子大学)
- S-23 脳科学から教育へのチャレンジ  
仁木和久(産業技術総合研究所)
- S-24 CSCLを用いた科学教育の支援  
- 仮説空間, 実験空間の探索活動の促進 -  
大島 純(静岡大学) 大島律子(中京大学)  
竹中真希子・山本智一・稲垣成哲(神戸大学)  
山口悦司(宮崎大学) 村山 功(静岡大学) 中山 迅(宮崎大学)
- S-25 デザイン研究への参加をとおした教師の学習観の変化  
- 正統的周辺参加の観点から -  
堀野良介・大島純(静岡大学) 大島律子(中京大学)  
山本智一・稲垣成哲・竹中真希子(神戸大学) 山口悦司(宮崎大学)  
村山 功(静岡大学) 中山 迅(宮崎大学)
- S-26 Cプログラミングの協調的学習環境の設計と運用  
土屋孝文・市川ひと美(中京大学) 鈴木健志(SKEN)
- S-27 現実のケースに基づくプログラミング初心者の学習過程の解明  
江川紘美・三宅芳雄(中京大学)
- S-28 基礎情報教育の授業デザインの検討と評価  
- タッチタイピング技能習得の分析をとおして -  
齋藤真弓(中京大学)
- S-29 デザイン実験手法による大学授業改善の試み  
- 認知科学をテーマとした協調的な知識構成型授業の構築 -  
益川弘如(中京大学)
- S-30 学習方法としての議論に関する一考察  
- 「大学での学び」を考える授業実践から -  
井下千以子(慶應義塾大学)
- S-31 芸術教育場面における表現観の意識化  
~ 作品制作活動の言語化と吟味活動「リフレクション」の授業実践 ~  
山口哲郎・宮田義郎(中京大学) 山田晃生(岐阜県立武儀高等学校)
- S-32 異文化連携のサポートモデルと関係的・創発的世界観  
宮田義郎・榊原千真・鶴岡 央・篠原 一(中京大学)

- S-33 異文化体験のためのシミュレーションゲーム「バーンガ」  
- 情報表現への展開 -  
横山美紀・木村健一(公立はこだて未来大学)
- S-34 グループ間インタラクション機会を導入した協調学習支援  
尾澤重知(北陸先端科学技術大学院大学) 望月俊男(総合研究大学院大学)  
江木啓訓・井下理(慶應義塾大学)
- S-35 シミュレータを用いた子どもの情報伝達過程の認知に関する研究  
国立基・岡野一郎・Bipin Indurkha(東京農工大学)
- S-36 実験計画スキル学習支援システム VPL の実験的検討  
中池竜一・三輪和久(名古屋大学)
- S-37 プロセスの自己省察を軸とした創造性教育の実践と評価  
石井成郎・三輪和久(名古屋大学)
- S-39 山水画制作プロセスに関する研究  
- フィールドワークと現場実験に基づく分析 -  
横地早和子・岡田猛(名古屋大学)
- S-40 創作物の多様性に対するヒントと動機づけの効果  
- 無意味つづり産出課題による検討 -  
田中吉史(東京都立大学)
- S-41 情報検索活動における仲介者機能の役割  
- ウェブを用いた検索活動実践による考察 -  
嵯峨園子(中京大学)
- S-42 『知』の循環と融合のモデル  
福永征夫(アブダクション研究会)

## 口頭発表(6)

14:40 ~ 16:00

会場：講堂 司会：小橋康章(ハイウェイ開発)

- F-1 ゴール制約による洞察の創発  
鈴木宏昭(青山学院大学)
- F-2 条件付き確率判断における「入れ子集合」教示の効果  
山岸侯彦(東京工業大学)
- F-3 創造的描画活動における模倣を通じた「写實的制約」の緩和効果  
石橋健太郎・岡田猛(名古屋大学)
- F-4 アイデア探索空間の広さと創造性の関係  
吉田靖・服部雅史・尾田政臣(立命館大学)

ワークショップ(2)

16:10 ~ 18:10

---

会場 : C棟 201 講義室 ( W-4 ) / C棟 301 講義室 ( W-5 ) / 旧福利施設 2F ( W-6 )

W-4 学習環境のデザイン研究の今とこれから

企画責任者 大島 純 ( 静岡大学 )

W-5 認知・知覚の動的双対性

企画責任者 郡司ペギオ幸夫 ( 神戸大学 ) 森山 徹 ( 公立はこだて未来大学 )

W-6 認知科学オントロジー 第2部理論編

企画責任者 橋田浩一 ( 産業技術総合研究所 )